

達成度：H22.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

経営企画課の目標（平成 21 年度）自己評価書

経営企画課長 仲田 義秀

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 町が取り組む政策課題の推進(企画総合調整班)</p> <p>第 4 次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、基本計画において予め設定した戦略的・重点的に取り組む成果指標の達成状況について自己評価を行い、施策・事業の有効性をより一層高め、事業の効率的な推進を図るため引き続き実施し、住民本位の行政経営を目指します。</p> <p>また、平成 23 年度で第 4 次総合計画期間が終了しますので、本計画の成果を踏まえた第 5 次総合計画の策定に向け準備を行っていきます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画において予め設定した主要事業 72 項目における成果指標について、引き続き評価しました。 その結果、現状のまま継続が 58 事業、改善を要するが 14 事業となり、目標値に対する進捗状況を把握するとともに、今後の課題、改善策を踏まえた方向性を抽出することができました。 ・第 5 次総合計画の策定に向けた策定要綱を制定するとともに、策定体制及び策定スケジュールについても方向性を定めることができました。
<p>2 特定事項の推進(企画総合調整班)</p> <p>東関東自動車道酒々井 IC 設置促進期成同盟(6 市町で構成：会長酒々井町長)及び印旛沼の各種事業の総合的な連絡調整等を行う印旛沼関連事業市町村連絡会議(6 市町村で構成：会長酒々井町長)の目的達成のため、構成市町村との連携を一層深めていきます。本年度は、特に利根川水系河川整備計画の策定など国の施策の動向を注意深く見守っていきます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・東関東自動車道酒々井 IC 設置促進期成同盟及び印旛沼関連事業市町村連絡会議の各事務局として、主体的に構成自治体と連携を図ってきました。 その結果、目的達成のための諸活動を積極的に展開することができました。 ・河川整備計画の策定状況については、関係機関との情報交換を進め、把握することができました。
<p>3 地域づくりの推進(企画総合調整班)</p> <p>地域社会を住民とともに創っていくためには、地域の持つ行政課題をみんなで共</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当員と連携して、地域の要望や意見を把握するとともに、その内容を関係部署に伝え、迅速かつ適切に処理

<p>有し、共に課題解決のために何を行うべきかを認識し行動していくことが必要なことから、地域担当員を活用し、地域の要望や意見に耳を傾けることはもちろん、地域に根ざした発展の方向性を一緒に模索していきます。本年は、地域担当員制度に対する理解にばらつきがあるため、同制度の一層の周知を図っていきます。</p> <p>また、地域担当員連絡会議を随時開催し、情報の共有化や課題解決に努めます。</p> <p>さらに、今年度町が誕生して 120 年を迎えるにあたり節目の年として、ふるさと酒々井に対する誇りと愛着心を深めるため、住民と行政の協働による町制施行 120 周年記念事業を実施していきます。</p> <p>4 広報活動の充実(広報広聴班)</p> <p>町が住民に伝えたい情報や住民が知りたいと思う情報等を正確かつタイムリーに、また分かりやすく提供していくため、広報ニューしすいの内容充実を目指します。同時に、地域資源の活用を図り住民とともにまちづくりを進める行政経営の視点から、広報ニューしすいに有料広告を掲載し、経費的な側面からも広報紙面の充実につながるよう、自主財源の確保に努めます。なお、昨年度は広告収入額が目標額に至らなかったことから、本年度は目標額の達成を目指します。</p> <p>また、本年度は、町制施行 120 周年の節目を迎えたことから、毎年職員の手作りで発行している町政便覧のなかで、120 年の時代往来を、写真を多く取り入れ、分かりやすく振り返ることができる、記念誌的な町政便覧を作成します</p> <p>5 広聴活動の充実(広報広聴班)</p> <p>民意の反映は地方行政の基本であることから、町に対する住民の意見や要望を的確</p>	<p>することができました。また、地域担当員に対して、新たに活動状況や担当地域の地域づくりの現状・課題及び地域担当員制度に対する改善や提案等についてアンケート調査を行うとともに、その結果を周知しました。</p> <p>これらの結果、協働のまちづくりの推進が図られるとともに、地域担当員制度の展開に大きく寄与することができたものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町制施行 120 周年記念事業を展開するにあたり、町民からなる実行委員会を組織し、行政と役割を分担した中で、実施してきました。 <p>その結果、町民と行政の相互において、あらためて協働によるまちづくりの有用性を広く認識していただくことができたものと考えます。</p> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署と連携して、広報ニューしすいで、政策課題などの行政情報を積極的に提供したことにより、町民との情報の共有に大きく寄与できたものと考えます。また、広告収入の確保を図るため、企業等に広告の掲載を積極的に奨励したところ、目標額 30 万円に対して 49 万円を確保することができました。 ・町政便覧に創意工夫を凝らし、町制施行 120 周年にふさわしい記念誌的な内容を取り入れた結果、あらためて、まちづくりへの共感を呼ぶとともに、町に対する郷土愛の高揚に寄与することができたものと考えます。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を含めて、広報ニューしすいや町ホームページに掲載し、町民への周知
--	---

<p>に把握するため、各種広聴活動の周知に努め、協働のもととなる信頼関係の構築を図っていきます。本年度は、引き続き町民相談室等と連携して、的確な広聴活動を実施していきます。</p> <p>6 各種統計調査の実施(広報広聴班)</p> <p>国・県の各種統計調査を円滑に実施していくため、統計調査員の確実な確保を目指します。なお、本年度は、事業所の国勢調査とも言われる「経済センサス基礎調査」、「世界農林業センサス」などの大規模な統計調査があることから、自治会等の協力を得るなどして統計調査員の確保を図っていきます。同時に、審査事務を的確に行い正確な統計となるよう務めるとともに、統計情報を引き続きホームページなどで公表していきます。</p> <p>また、来年度に実施される国勢調査に向け準備態勢を整えていきます。</p> <p>7 チャレンジ目標</p> <p>JR 酒々井駅構内及び自由通路のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設定することについて、今年度及び平成 23 年度に実施する計画ではありますが、事業手法の検討を行い、早期に完成できるよう関係機関等との協議をおこないます。</p> <p>また、(仮称)酒々井インターチェンジ及び関連道路の整備につきまして、現在進められておりますが、早期完成を関係機関等に働きかけていきます。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>を図りました。また、関係部署と連携して、町長への手紙などを通じて町民の町政への参加機会の拡大が図られてきたものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法の施行などによりプライバシー意識が高まり、統計調査をめぐる環境は、調査員の確保はもとより、調査自体も年々厳しい状況となっておりますが、調査員を確実に確保し、各種統計調査を円滑に実施することができました。 ・国勢調査の実施に向けては、県と連携して、準備態勢に入りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・JR 酒々井駅におけるエレベーターについては、関係機関と協議を重ねてきた結果、自由通路東口側が平成 21 年度に完成し、平成 22 年 5 月に供用を開始することとなりました。また、同西口側及び駅構内は平成 22 年度に設置工事、同年度中の供用開始に向けた態勢を整えることができました。 ・(仮称)酒々井インターチェンジ及び関連道路の整備については、早期完成を関係機関等に働きかけてきました。
--	-------------------	---